

|     |                |
|-----|----------------|
| 事業名 | 庁舎管理事業（庁舎設備修繕） |
|-----|----------------|

|      |          |
|------|----------|
| 総事業費 | 8,654 千円 |
|------|----------|

## ① 計画 (Plan)

|                 |       |         |
|-----------------|-------|---------|
| 長期振興計画<br>の位置づけ | 施策名   | 財産の有効活用 |
|                 | 基本事業名 | 施設の適正管理 |

## ② 実施 (Do)

|                  |                                    |  |
|------------------|------------------------------------|--|
| 事業の意図            | 庁舎機能を良好な状態に保ち、快適に安心して利用できる環境を保持する。 |  |
| 事業の実績<br>と<br>成果 | 取組内容                               | 庁舎建設後20年近くが経過し、設備類の運転状況や耐用年数から本格的な設備更新時期を迎えており、係で作成した修繕計画に基づき、設備類の修繕を実施した。 |
|                  | 成果                                 | 係で作成した修繕計画に基づき個別空調機の修繕、受変電設備の更新、トイレの洋式化、執務室のLED化を実施した。                     |

## ③ 振り返り (Check)

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| 事業実施上の課題<br>(事業担当者記入)          | 施設の予防保全・長寿命化の観点からは中規模修繕（機能回復）の時期を迎えており、躯体の劣化状況調査を行った上で、改修する部位の特定を明確にし、長期修繕計画に反映させる必要がある。   |
| 評価結果の根拠<br>及び今後の課題<br>(担当課長記入) | 庁舎機能を維持していくため必要な経費である。建築年数から考え、今後も修繕に掛かる費用は増加が見込まれる。修繕に当たっては、その後のメンテナンスや維持経費について、費用軽減が見込まれる機種を選定を行うなど、常に経費節約に繋がる方法を研究しながら対応をしていく必要がある。 |

## ④ 改善 (Action)

|           |              |
|-----------|--------------|
| 2019年度方向性 | 修繕活動の早期化を図る。 |
|-----------|--------------|

### 【参考資料】

| ※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等 | 説明 |
|--------------------------|----|
|                          |    |

|     |         |
|-----|---------|
| 事業名 | 馬毛島活用事業 |
|-----|---------|

|      |        |
|------|--------|
| 総事業費 | 528 千円 |
|------|--------|

### ① 計画 (Plan)

|                 |       |         |
|-----------------|-------|---------|
| 長期振興計画<br>の位置づけ | 施策名   | 財産の有効活用 |
|                 | 基本事業名 | 施設の適正管理 |

### ② 実施 (Do)

|                  |                                 |  |
|------------------|---------------------------------|--|
| 事業の意図            | 馬毛島をより深く知ってもらう。馬毛島の様々な価値を知ってもらう |  |
| 事業の実績<br>と<br>成果 | 取組内容                            | 市長公約である馬毛島活用計画をH29年度に策定し、H30年度に馬毛島体験学習と馬毛島企画展を実施した。市長からは、活用計画のブラッシュアップを求められており、現在、より実現性のある計画策定について庁内の検討メンバー協議を行い、次年度に向けた取り組みについて検討を重ねてきている。今後は、馬毛島の様々な情報を提供していくことで、市民の馬毛島に対する関心を高め、利活用に関する積極的な議論がなされるようにしたい。 |
|                  | 成果                              | 馬毛島へ渡航し馬毛島の自然や文化的なことを知っていただく体験活動や、馬毛島の昔の写真展や元住民による当時の生活の話を企画展で行うことができ、馬毛島を知っていただく取組みができた。  |

### ③ 振り返り (Check)

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 事業実施上の課題<br>(事業担当者記入)          | 初年度であり、手探りの状態の中での事業実施であったが、次年度はより充実した取組みを企画していく計画である。但し、馬毛島上陸は地権者の意向もあり、積極的活動が展開できるか心配な部分もある。 |
| 評価結果の根拠<br>及び今後の課題<br>(担当課長記入) | 政治色の強い事業であることから、今後の取組については、市長の意向も確認しつつ、取組を進めてまいりたい。   |

### ④ 改善 (Action)

|           |   |
|-----------|---|
| 2019年度方向性 | 馬毛島活用計画に基づいた取組みを進めていくこととなるが、市長から活用計画のブラッシュアップを求められていることから、庁内検討だけでなく、市民も交えた形での検討協議を行うことを計画している。また、昨年度から実施している馬毛島体験活動も、小学生だけでなく、中学生・高校生・保護者まで対象を広げ、事業内容も前年度より拡充した形で実施する計画である。 |
|-----------|---|

#### 【参考資料】

| ※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等 | 説明 |
|--------------------------|----|
|                          |    |